

# 平成30年度 第3回 市政モニタ一会議報告書



市長講演

新居浜市 企画部 秘書広報課

平成31年3月

## (事業の目的)

新居浜市では、市政に関する市民の皆さんの意見をお聴きし、市政運営の参考とするために、市政モニター制度を設けています。

今回の市政モニター会議は、参加希望いただきました市政モニターの皆さんと、市長との直接対話を通じて、市政の状況などをお知らせするとともに、いただいた意見を今後の市政運営の参考とさせていただくことを目的に実施しました。

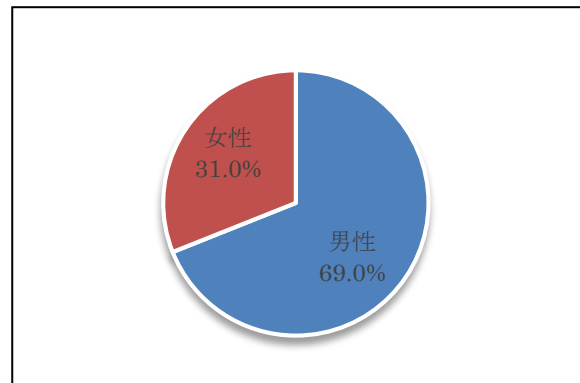
(日 程) 平成31年2月21日(木) 14:00～16:00

(場 所) 新居浜市役所 5階大会議室

## (参加者の状況)

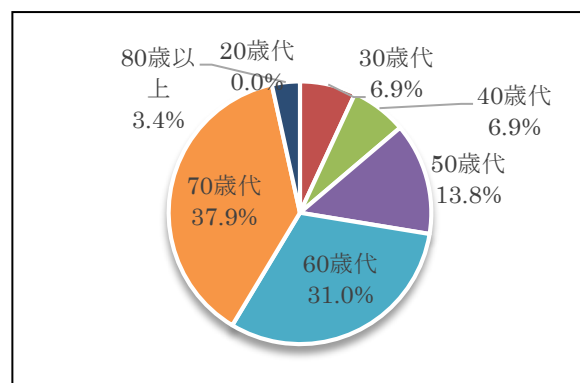
### <性別>

	人数	割合
男性	20人	69.0%
女性	9人	31.0%
合計	29人	100.0%



### <年代別>

	人数	割合
20歳代	0人	0.0%
30歳代	2人	6.9%
40歳代	2人	6.9%
50歳代	4人	13.8%
60歳代	9人	31.0%
70歳代	11人	37.9%
80歳以上	1人	3.4%
合計	29人	100.0%



※年齢は平成30年4月1日時点

※数値は、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計は一致しない場合があります。

## (内 容)

### ①市長講演 「新居浜市政について」

\*市長より、今年度に実施した主な事業、来年度に計画する主な事業等について説明

<はじめに>

(平成30年度のトピックを紹介)

- ・にいほふるさと映画の製作
- ・愛知県大府市との都市間交流協定締結
- ・国指定天然記念物「銅山峰のツガザクラ群落」
- ・中学校駅伝大会 全国大会出場
- ・「ふるさと祭り東京2019」への太鼓台派遣
- ・シティブランド戦略の推進

<平成30年度実施した主な事業> ～基本政策（7つの夢の実現）に沿って～

- 1 安全で快適に暮らせる都市の実現
  - ・主要幹線道路の整備促進
  - ・ブロック塀撤去
- 2 活力ある産業活動の実現
  - ・住友各社の設備投資と液化天然ガス（LNG）基地の建設
  - ・ものづくり産業情報発信事業
- 3 地球にやさしい暮らしの実現
  - ・し尿・浄化槽汚泥の下水処理場での共同処理
  - ・レジ袋廃止店舗の拡充
- 4 健康で、生きがいのある暮らしの実現
  - ・県立新居浜病院整備計画決定
  - ・子育て世代包括支援センターの開設
- 5 市民の力が育まれ、継承される社会の実現
  - ・放課後児童クラブの拡充
  - ・小中学校のエアコン整備
  - ・近代化産業遺産の保存（旧端出場水力発電所、山田社宅）
  - ・日暮別邸移築記念特別企画展
- 6 自立・連携する協働社会の実現
  - ・運転免許自主返納促進
  - ・西日本豪雨災害に関する職員派遣（宇和島市）
- 7 効果・効率的な市役所の実現
  - ・「Hello! NEW 新居浜FM78.0」運用開始、コミュニティFMラジオ購入補助
  - ・移住・定住促進

<平成31年度の主な取り組みについて>

(当初予算4つのポイント)

- 1 防災・減災対策の強化・充実
- 2 新居浜市総合戦略の完遂
- 3 「えひめさんさん物語」の成功
- 4 小中学校教育力の向上

(平成31年度の主な取り組みを紹介)

- ・ 総合防災拠点施設の完成、災害時に活用が期待されるドローンの導入
- ・ 国際交流協会の設立
- ・ 東雲体育館空調整備、小中学校体育館のトイレ洋式化
- ・ 東田団地建替え
- ・ 高柳公園等、湧水池整備
- ・ 創造型研究開発支援事業
- ・ プロフェッショナル人材確保支援事業
- ・ 別子山市有林の整備事業
- ・ 台湾テレビ招請によるインバウンドの推進
- ・ 新エネ設備導入支援事業
- ・ インフルエンザ予防接種の助成拡大
- ・ 新居浜市民三世同居等支援事業
- ・ 特定健診の無料化
- ・ 東新学園の民設民営化
- ・ 放課後まなび塾の拡充
- ・ 小中学校の電子黒板整備
- ・ 校務支援システムの導入
- ・ 没後10年平山郁夫シルクロードコレクション展の開催
- ・ にいはまSDGsアート・フェスティバル2019
- ・ 東予東部圏域振興イベント「えひめさんさん物語」
- ・ 別子銅山を舞台としたミュージカルの上演

<おわりに>

(今後の取り組み方針)

「再発見」＋「創造」→この2つの「新しい」を「チカラ」に  
 新しい新居浜を創造  
 →『市民の笑顔輝く新居浜市』の実現

## ②市政モニターとの意見交換

\*いただいた意見と市長からの回答（※ご意見等は内容を要約、編集しています。ご了承ください。）

	意見	市長の回答
1	ブロック塀の撤去について、危険箇所の調査はどこまで進んでいるのか。また、今後どのようなスケジュールで問題解消しようと考えているのか。	小中学校のブロック塀については、既に調査が完了して、危険箇所の撤去・改修を実施しています。 個人の家ブロック塀については、新設しました「民間ブロック塀撤去補助事業」は、道路に面したブロック塀の所有者または管理者が、「これは危ないから撤去しよう」と判断されたものについて、市に申し出があれば撤去費用の補助を行うものですので、市の方で民間ブロック塀の安全性のチェックまでは実施しておりません。
2	説明の中では、小中学校のトイレの洋式化については言及さ	まずトイレの洋式化について、先ほど説明しましたのは小中学校の体育館のトイレの洋式化についてで、小中学校の体

	<p>れていなかったように思う。</p> <p>また、市本庁舎を含め各施設でも、まだ和式トイレが多いが、各施設のトイレの洋式化についてどのように考えているのか。特に、図書館のトイレを洋式化してもらいたい。</p> <p>また、小中学校の体育館のトイレは洋式化を進めると説明があったが、エアコンの設置、特に体育館のエアコン設置についてはどのように考えているのか。</p>	<p>育館は避難所にも指定されていますので、まずはこれを洋式化させていただきたい、というものです。学校のトイレについては、現在すでに大規模改修を実施した学校については、その際に併せて洋式化を実施しています。それ以外の学校については、まだ洋式化に着手できておりません。この件については、来年度中に、小中学校の普通教室全てにエアコンを設置する予定ですので、これを完了した後に、小中学校のトイレの洋式化がまだのところは実施していきたいと考えております。</p> <p>その他の施設についてですが、まず市本庁舎は、市民の方が多く利用する1階と、議会の傍聴者が訪れる7階は完全に洋式水洗化していますが、その他は各階1箇所の洋式トイレを除き、和式のままとなっています。図書館含め、その他の施設についても、全部が洋式化にはまだなっていないかもしれません。和式を利用する方もおられますので、全体のうちの半分とか3分の2を洋式化する、というような形になるかもしれませんが、これについても今後また検討していきたいと考えております。</p> <p>また、体育館の空調設備についてですが、東雲体育館については、市全体の避難所にもなっていること、また各利用団体等からも運動をするうえでぜひエアコンを入れてほしいとの要望もあったことから、来年度にエアコンを設置いたしますが、小中学校の体育館については、今のところまだ計画には入っておりません。</p> <p>小中学校のトイレの洋式化と、この小中学校体育館のエアコン設置の2点が、次の課題であると認識しておりますが、当面は先ほど申したとおり、小中学校の普通教室のエアコン設置、小中学校の体育館のトイレの洋式化に取り組みたいと考えております。</p>
3	<p>自分の地域の親老会では、毎年バスの送迎サービスを利用して「坊ちゃん劇場」に行っているが、今年は必要な人数が集まらず、劇場にバスを出してもらえなかった。市が来年度「坊ちゃん劇場」で上演される別子銅山を舞台としたミュージカルの観覧を推進するのなら、市のバスを使わせてもらえないか。</p>	<p>「坊ちゃん劇場」でのミュージカル上演に際しては、例えば小・中学生等の観覧推進のため、市も送迎バスを出す等の検討をしなくてはならないと考えていたところですが、劇場の送迎サービスがあるとの情報をいただいたので、そちらを利用することも検討したいと思います。</p> <p>バスの貸与についてですが、以前から各団体より、色々な行事に際して市のバスを使わせてほしい、という要望はありました。現在、議会事務局が所管している小型マイクロバス1台のみですが、例えばもう1台、大型バスを市に備え付けて、空いている時には各団体にも使っていただく、ということ、今後また検討させていただきたいと思います。</p>
4	<p>別子山市有林の整備事業について、「林道を整備する」との説明があったが、これはどのような計画で、いつ頃から取り組む予定なのか。</p> <p>また、別子山地区には第3セ</p>	<p>添付資料の図を見ていただくと、別子山支所の西側付近には、住友林業の社有林がたくさんあることがわかると思います。住友林業の林の中には同社所有の林道が既にありますので、まずはその西側の私設林道（「物住・大野谷線」）から入らせてもらって、最終的には東側の私設林道（「多良津線」）に連結する、10t車程度が通行可能な最低限の作業道を整備</p>

	<p>クターで運営されている木材センターがあるが、同社の建物や設備機器が非常に老朽化している。今後、木材センターの改修を含め、どのようにして別子山地域の活性化に繋げるのか、具体的な考えを伺いたい。</p>	<p>したいと考えております。この作業道の整備には来年から取りかかります。</p> <p>次に木材センターについてですが、先ほどの説明でも申し上げましたとおり、別子の市有林の搬出間伐を実施しても、その木材をそのまま市場に出すだけではまだ赤字です。木材を加工して、付加価値を付けて市場に出さないとプラスにならないので、木材センターの活用、そのためには機械設備等も整備する必要があるかと思えます。場所についても、あそこのままでいいのか、という問題もあるかと思えますので、まずは作業道を整備して、木材が実際に搬出されるようになるまでに、木材センターをどうするか検討しなければならぬと考えております。</p>
5	<p>レジ袋廃止に関連して何うが、CO2 排出削減に関して、各市町村に行政から示された削減目標のような数値設定はあるのか。</p> <p>また、目標値がある場合、現状の数値を調査して、数年先にはどの程度の削減ができた、という報告ができる状況なのか。</p>	<p>CO2 排出削減に関して、県あるいは国から「市として、これだけのCO2 を削減しなさい」という数値設定はありませんが、市として独自の計画（「新居浜市地球温暖化対策地域計画」）を策定して、この程度削減しましょうという目標値は持っています。（中間目標年（2020 年度）－25%削減）</p> <p>そして、おっしゃられているような計算もできるようになっていますので、ある一定の時点で、過去と比較して、基準値に対しこれだけ削減できた、という報告ができると思えます。</p>
6	<p>説明の中で、「放課後児童クラブ」と「放課後まなび塾」と「放課後子ども教室」の3事業を連携して一体的に実施、とあったが、どのような形で連携しているのか。</p> <p>また、夏休みにも学習サポートを行う、という表現があったが、これは「放課後まなび塾」を夏休みにも実施するという理解でよいのか。</p>	<p>これは非常にわかりにくいのですが、まず「放課後児童クラブ」は、共稼ぎ世帯の子どもの見守りを目的とした制度で、厚生労働省の所管になります。一方、「放課後まなび塾」「放課後子ども教室」は、すべての子どもを対象に、前者は学習支援、後者は体験・交流の場ということで、少しやり方が違うのですが、いずれも文部科学省の所管です。</p> <p>この管轄の違いが一番大きな問題で、以前から「放課後児童クラブ」と「放課後まなび塾」を、なんとか一本化してわかりやすくできないかと議論を重ねましたが、国の予算の出所が違うという点で、どうしても完全に一本化にはならないということでご理解いただきたいと思えます。</p> <p>そして、「放課後児童クラブ」については、既に別子を除く全小学校で実施しておりますが、「放課後まなび塾」については一部、実施していない小学校もあります。この「放課後まなび塾」を平成31年度は全小学校に設置するという点、そして放課後のほか夏休みの長期休暇中も「放課後まなび塾」を実施するようにする、この2点が今回新たに掲げた目標です。</p> <p>ですから、「連携」という表現が適当かわかりませんが、共稼ぎ世帯のお子さんには、基本的に「放課後児童クラブ」へ行っていただくのですが、「放課後まなび塾」の方で勉強したいということであれば、まなび塾の方へも行けます。そこは柔軟にやっていく、ということです。ただし、共稼ぎ世帯でないおさんは、「放課後児童クラブ」の方に行くことはできません。そして、「放課後子ども教室」というのは、</p>

		<p>土日等に公民館などで、地域の人から色々な郷土の遊びを教えてもらったり、田植えをしたり等の体験や交流の場で、これは誰でも希望者は行けます。</p> <p>「放課後まなび塾」、「放課後児童クラブ」の共通の課題として、人員の確保の問題があります。実は「放課後児童クラブ」を6年生までになんとか拡充したいということで、努力したのですが、指導員のなり手がいないために、できていないのが実情です。募集してもなかなか応募がないので、人手をどうやって集めるか、例えば高専の生徒さんに「放課後まなび塾」の指導をしてもらう、なども1つの案として考えているところです。</p>
7	<p>放課後支援事業に人材が必要ということはわかったが、新たに事業を拡大するにあたって、施設面の充実についてはどのように進んでいるのか。</p>	<p>基本的には、学校の教室を使うようにしています。</p> <p>これまで「放課後児童クラブ」につきましても、学校の空き教室を使って、足りない場合はプレハブ施設を建てる等対応していました。この点についても、厚生労働省と文部科学省の間で議論がありましたが、今は「放課後児童クラブ」「放課後まなび塾」ともに学校の空き教室を使っているようになっています。</p>
8	<p>運転免許自主返納についての話があったが、確か返納すればバスは半額、タクシーは1割引になったと思う。しかし、高齢者にとっては、バス停まで行くこと自体が難しい場合も多いので、タクシー料金も半額になれば、返納率はかなり上がるのではないか。デマンドタクシー（返納により利用料金が半額）もあるが、利用しづらい面がある。今後、自主返納促進のため、タクシー運賃の補助を増やすような計画はないのか。</p>	<p>運転免許自主返納によるバスやタクシー運賃の割引については、市が支援を行っているのではなく、あくまでも各バス会社やタクシー事業所の協力を得て、警察署と事業所の話し合いで実施しているものです。</p> <p>現在のところ、市としては、さらにタクシーの運賃割引に補助金を出す、ということは考えておりません。当面は、運転経歴証明書の申請手数料については市が負担する、という取り組みをさせていただいています。</p> <p>将来的に、バスまたはタクシーの割引を増やす、というようなことは、今後また警察とも協議してまいりたいと思います。そして、できるだけデマンドタクシーも活用していただけるようにしていきたいと思います。</p>
9	<p>防災の観点からお聞きしたい。先ほど、東雲体育館は市全体の避難場所であるから空調設備を設置する、との話があったが、東雲体育館が避難所となる際の運営体制はどうなっているのか。学校や公民館が避難所となる場合は、市と、公民館や学校などの施設の管理者と、地域が主体的に取り組むが、東雲体育館の場合はどうなのか。</p> <p>また、避難所の運営マニュアルを各地域で作成する動きが始めているが、東雲体育館のマ</p>	<p>まず、東雲体育館の避難所としての運営方式ですが、平成16年の豪雨災害以降、当市にはまだ大きな災害がありませんでしたので、基本的には公民館や自治会館での避難所開設が主となっており、運営体制としては、基本的にこれまで全て市の教育委員会の避難所班が対応しております。体育館についても、当然市の方で対応するという状況になりますが、例えば、全市的な被災となった場合には、それでは対応しきれない、というご意見もわかりますので、そのような大きな避難所の運営体制をどうするのか、それは早急に市の方で決めなければならないことと思います。</p> <p>ちょうど今、国領川のハザードマップを作成中ですが、例えば先般の西日本豪雨災害のような記録的豪雨が発生して、ダムを異常洪水時防災操作して流入水量を全て放出する、というような事態が起こった場合には、国領川も危ないのでは</p>

	<p>ニュアルを市が作成すれば、各地域が作成する際のモデルになると思うので、早く作成していただきたい。</p> <p>最後に、各小中学校の体育館の空調は、教室のエアコン設置等の後だと言われたが、避難所を運営する際は、夏の暑さ対策が各学校、地域ごとに大きな問題となるので、ぜひ早く計画に上げてほしい。</p>	<p>ないか、東雲体育館で大丈夫かという意見もあるかもしれませんが。そのような事も含めて、ハザードマップの作成と併せて、避難所の運営体制についても、皆さんのご意見をいただきながら、検討し直すようにさせていただきたいと思います。</p> <p>また、小中学校の体育館の空調についてですが、先般の南予の災害でも、体育館がかなり暑いということで、持ち込み式のクーラーを据えたと聞いています。また、普通に運動をするにも最近の夏の暑さは特に厳しいですので、早いうちに検討させていただくようにしたいと思います。</p>
10	<p>外国人観光客の誘客に取り組むということだが、東京や大阪のような都市圏ではなく、新居浜に外国人観光客が来るということが想像つかない。新居浜の観光資源のうち、どういうところが外国人にとって魅力になると考えているのか。</p>	<p>現在はまだ、新居浜に外国人観光客の方はあまり来られていないのが現状ですが、東京・大阪はもちろん、今は松山やしまなみ海道あたりまで、多くの外国人の方が観光に訪れています。またご案内のとおり、単に都会へ行って買い物をする、というのは一段落して、最近では SNS を情報源に、日本の珍しい場所や田舎にもどんどん訪れているとのこと。</p> <p>そういった方々をこちらに呼び込むということで、観光資源としてはやはり、別子銅山がいいのではないかと思います。新居浜市でも SNS を使って積極的に発信するのに併せて、英語や韓国語、中国語などで表示した案内板などの整備をしていきたいと考えております。また、先日松山空港と台湾との定期便もできまして、その利用促進のため台湾テレビの愛媛県への招請などの働きかけをするということですので、新居浜市でもまずは台湾の観光客をターゲットにしてみたいと思います。なお、既にマイントピア別子では毎年、台湾への営業活動を実施しており、年間数百人の方にマイントピア別子を訪れていただいています。</p>
11	<p>駅南地区の整備事業について、数年前から話題に挙がり、あかがねミュージアムで説明会も開催されたが、その後、整備計画はどのようになったのか。</p>	<p>駅南地区の整備につきましては、誠に申し訳ございませんが、未だに結論が出ておりません。数年前に、計画案3案をお示しして、地域の皆さんに説明させていただきましたが、結局、その結論がなかなかまとまらない。反対意見やもう少し様子を見るべきではないか等、色々な意見があり、市としての方針を示すことができない状況です。</p> <p>つきましては、来年度から新たにもう一度、こちらの案を示して、地域の方や学識経験者の方々に検討していただき、それを踏まえて地域・市民の方に案をお示しできるよう、もう一度取り組むこととしています。</p>
12	<p>健康診断が無料化すると聞いたが、非常に良いことだと思う。</p> <p>胃の検査でバリウムを飲むが、非常に飲みにくいというえに、検査精度があまり良くないと聞くので、胃カメラの方がいいのではないか。保健センターに胃</p>	<p>先ほど説明しました健診の無料化とは、国民健康保険加入者の特定健診の自己負担をゼロにするという取り組みです。これは、国保加入者の特定健診受診率が30%程度と低いため、健診を受けないと病気の発見が遅くなり、医療費が高額になる、ということもありますので、受診率を向上させることを目的に、平成31年度より無料化に踏み切りました。該当の方はぜひ、毎年受けていただきたいと思います。</p> <p>胃カメラの件ですが、胃カメラによる検査をすることで</p>



	<p>カメラを設置して検査できるようにしてはどうか。</p>	<p>も、保健センターにその装置と医師を置いておくというのは難しいので、助成をするとしても、やはり各人がそれぞれ医療機関で胃カメラ検査をして、その費用に対して助成する等のやり方になると思います。現在、バリウムで実施している検診を、胃カメラに変更できないかという点を含めて、今後検討させていただきたいと思います。</p>
13	<p>校務支援システムの導入によって、教員が子どもと向き合う時間を確保したいとの説明があったが、非常に素晴らしいことだと思う。現在、学校現場には色々な問題があるが、最も早期に解決しなければならないことが、いじめ、虐待、差別の問題である。これらの解決のためには、問題を早期発見・対応することが大切であり、そのためには教員がじっくり子どもと向き合う時間を確保しなければならない。</p> <p>「放課後まなび塾」などの放課後支援事業を、空き教室を活用して実施するという説明があったが、空き教室は、教員が子どもと個別に向き合い、話を聞く場として非常に大事なものである。放課後支援事業の拡充は良いことだと思うが、拡充するならば人員の問題に加え、キャパの問題も考えてほしい。単純に学校に空き教室があるから使うというのではなく、子どもにとって大事な場であることを認識して、費用はかかるが、放課後支援事業は校舎と別棟で行うなど、空き教室は残す方向で考えていただきたい。</p> <p>また、学校の体育館の空調整備は、学校現場にゆとりをもたらすという点で非常に重要である。教育課程の変更により、昔に比べて授業実数が増えている。体育館に空調を入れることで夏休みを減らし、代わりに一日の事業実数を減らすことができる。教員も余裕をもって子</p>	<p>まず、いじめの問題については、全国的に大変問題になっており、今後力を入れて取り組んでいかなければならない大切な問題であると認識しています。県教育委員会、また市教育委員会でも相談員を配置する等、なんとかいじめをなくするという努力をしているところです。今後も、学校現場の実態をお聞きして、できることを努めていきたいと考えております。</p> <p>空き教室の活用の件につきましても、教育委員会ともよく相談して、対応・検討していきたいと思っております。</p> <p>小中学校の体育館の空調につきましては、先ほどからお伝えしているように、まず教室の空調整備、その後トイレの洋式化、それに合わせて体育館の空調、というように考えていきたいと思っております。お話にもありましたが、私自身も、教室の空調が整備できた際には、夏休みの期間を短くして、日頃の授業ができなかったところを取り返してもらうなど、色々な面で課題、勉強をするのに充てていただくようなことをぜひ学校に考えていただきたい、と思っております。</p>

	<p>もたちと接し、授業の準備や教材開発に時間を充てることができるので、学力向上にもつながる。学校の体育館は避難所にもなるので、暑さ対策という意味でも空調整備は大事だと思う。</p>	
14	<p>3年前に部落差別解消推進法が施行されたが、現在も差別問題はいまだに解決されずに存在している。その解決の一助として、昨年度まで実施されていた「地区別人権・同和教育懇談会」が、これまでの教員主導から行政主導となり、今年度は試験的に3箇所で開催されたが、それではいけないと思う。やはり自治会館などに出向き、地域住民や保護者と話をし、やっとこちらを向いてくれるものだと思う。</p>	<p>差別問題に関しては、新居浜市でも長年、人権教育を実施してきましたが、現在も差別は残っているのではないかと私も思っております。お尋ねの地区別懇談会については、これまで教育委員会、市、教員、市職員等が中心になって実施してきましたが、長年の実施によりマンネリ化してきたことから、今回色々と議論を行って、少しやり方を変えて、地域住民の方に多く出席してもらえるような会にしていこう、ということになりました。今年は試行的に3校区で実施しましたが、マンネリ化を打破するという意味では、やり方を変える、ということも1つの方法ではないかと思っております。今後、問題が起こるようなことがあれば、ご意見を伺いながら改善していきたいと考えております。</p>
15	<p>閉校した若宮小学校の跡地活用について、生涯学習館、あるいは移住促進のための施設にする、など色々な話を聞くが、市としてどのような形での活用を考えているのか。</p> <p>運動場も広く、校舎もまだ綺麗なもので、せっかくのスペース、場所を活かしてほしい。地域住民として、生涯学習館や、若い人たちが運動や音楽など目的を持って活動できるスペースに変わってほしいと願っている。</p>	<p>若宮小学校につきましては、平成30年4月から惣開小学校と合併、ということで地域の皆さんには大変ご苦勞をおかけしてきました。その後、地元公民館や自治会等で組織される「新若宮を元気にする会」のご要望もいただき、どのような利活用を図るか、ということを検討してまいりまして、先般、私のところに素案が出てまいりましたので、その案をもう一度、庁内で協議検討して、近いうちに地域の皆さん、また市民の皆さんにお示しできるものと思っております。</p> <p>基本的には、子どもからお年寄りまで、すべての人が学べる場、そして子どもからお年寄りまで、あらゆる世代の方が交流できる場にしたいと考えております。また正式に決まりましたら、皆さんにお示ししたいと考えていますので、よろしく願いいたします。</p>
16	<p>今年度から小学校の運動会を秋から春に実施するようになった件について伺いたい。</p> <p>従来、自治会が主体で春に実施していた地域の住民運動会との兼ね合いを検討したうえで、今回の変更を決定したのか、どうか。もし、検討したのであれば、どのような機会に、どの団体と協議し、その際にどのような意見が出たのか。そして、それに対応するための方策を考え</p>	<p>今年度より教育委員会が小学校運動会の開催時期を春に変更した原因は、近年の酷暑による子どもの体調管理、つまり秋になってもなかなか暑さが和らぐ、熱中症になるおそれがあるので、春に実施してはどうかというのが第一の目的です。そこで教育委員会および校長会等で協議をした結果、小学校は春に変更するということが決定しましたが、決定にあたっては、やはり自治会の住民運動会が5月にあります関係から、まず連合自治会の理事会にお諮りしました。そこで、教育委員会側の事情等も説明させていただき、各校区へ持ち帰って検討していただきました。またその際、新居浜市体育協会にも全国大会等の時期を確認し、5月実施ならば問題ないのではないかと意見もいただいたと聞いています。そ</p>

	<p>た上で、今回の変更を決定したのか。もし、そもそも検討をしていなかったとすれば、この変更によって住民運動会が中止となった地域もあり、地域コミュニティの結束と融和を図る貴重な機会の一つが失われたことになるが、このことをどう考えるか。地域の連帯への取り組みは、防災の観点から見ても非常に重要なものであるが、それは運動会や文化祭といった地域行事がなければ、図ることが難しい。今回の変更で失われたコミュニティ結束の機会を、今後どのように補充していくのか、市として考えている方策があれば教えてほしい。</p>
17	<p>公民館の運営について、現在、公民館は教育委員会の組織内にあるが、公民館の役割は教育だけではない。公民館を教育委員会の管轄から外して、独立した市の機関とする組織再編成を実施する考えはないか、伺いたい。</p> <p>公民館の運営につきましては、現在、市教育委員会の所管とさせていただいております。確かに、公民館の歴史的な成り立ちを考えると、戦後の混乱した社会の中で社会教育が必要だということで、公民館ができましたが、もうそのような時代は終わっているのではないかという議論もあります。ついでには、自治会と同じように、それぞれの地域課題を解決するための公民館にならなければならないのではないかと、という意見もありますので、来年度、検討委員会を立ち上げて、自治会と公民館を融合させた地域運営協議会のようなものを発足させるといったことも検討していきたいと考えております。その結果を踏まえて、公民館を教育委員会の組織下におくのがよいのか、市長部局におくのがよいのかも含めて検討させていただきたいと考えております。</p>
18	<p>いじめ問題について、空き教室に子どもを呼んで話を聞くよりも、できれば先生がその子どもの家に行って、話を聞いてほしいと思った。</p> <p>また、教師の体罰が問題となっているが、子どもたちが本当に悪いことをしていても、先生は決して手を出すことはしてはいけないのだろうか。先生の方が非常に我慢をしている局面もあると思う。</p> <p>また、学校の先生と教育委員会との連携をもっと密にして、いじめ問題に対処してほしい。</p> <p>いじめ問題については、たいへん大切で難しい問題でもあると思います。問題が深刻化する原因は、もちろん子ども自身にもありますし、先生にも、家庭にもあると思いますが、現場の先生たちの苦労は大変なものがあると思います。この問題につきましては、教育委員会に持ち帰りまして、現場の先生方ともよく話をして、どうすべきかということを検討させたいと思います。</p>

	子どもが外で暴力をふるっている映像がネットで流れていることがあるが、周りは気が付かないのだろうか。親も気付くことができる方法を考えてほしい。	
19	重ねての発言になるが、いじめ問題と空き教室との関係について、一言説明させてほしい。 子どもは自分がいじめられている時、心配をかけまいと最後まで親には隠そうとする。このことを考えると、教育現場がゆとりを持つことで、子どもたちと話して、いじめを早期発見する、そのための空き教室が、やはり必要ではないかと思う。	ご意見をありがとうございました。先ほども申し上げましたとおり、この問題については教育委員会に持ち帰り、よく議論していただくようにしたいと思います。

### (参加者アンケート)

市政モニター会議に参加いただいたモニターの皆さんに、感想やご意見をうかがい、今後の参考とするためにアンケートを実施しました。

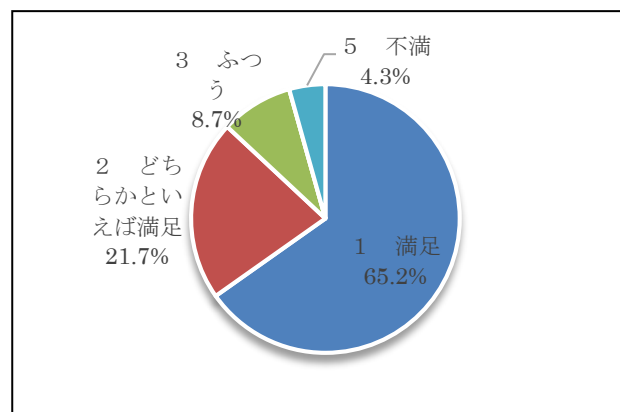
#### <アンケート概要>

調査対象者	第3回市政モニター会議参加者 29人
調査期間	会議実施日～平成31年3月1日(金)
調査方法	会議実施時にアンケート用紙を配布し、後日郵送で提出
回収数(率)	23人(79.3%)

#### <調査結果>

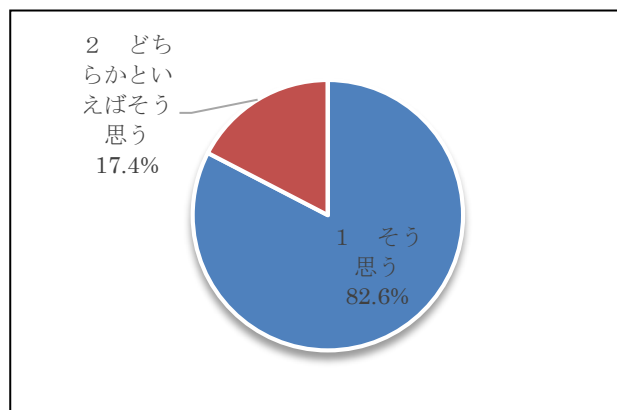
Q1. 今回の市長講演や意見交換の内容について、5段階の満足度でお答えください。(1つ選択)

1. 満足	15人
2. どちらかといえば満足	5人
3. ふつう	2人
4. どちらかといえば不満	0人
5. 不満	1人
合計	23人



Q 2. 今回の意見交換会に参加して、市の取り組みに対する理解や関心が高くなったと思いますか。(1つ選択)

1. そう思う	19人
2. どちらかといえばそう思う	4人
3. どちらかといえばそう思わない	0人
4. そう思わない	0人
合計	23人



Q 3. 今回の意見交換会に参加しての感想やご意見を自由に記入してください。

また、今回の意見交換会で発表できなかった、市政へのご意見、ご提言がありましたら記入してください。いただきましたご意見は、関係課所に送付し、今後の市政運営の参考とさせていただきます。(自由記入)

たくさんの感想やご意見をいただき、ありがとうございました。本報告ではその一部を紹介いたします。

**【会議について感想】**

- 市長の市政についての説明や質疑応答、また市政モニターの意見等には、知らない話もあり、色々と勉強になりました。いじめ対策の一環として、空き教室の確保と放課後児童クラブの6年生までの拡充によるキャパの問題等、考えさせられました。人口減少によるコンパクトシティ化や空き家対策などへの市の取り組みについても聞きたかったと後で思いました。今日の参加で、市政だよりの「いはいま市議会だよりの」の記事も一層興味深く読めると思います。
- 参加されていた方々の市政や自治会、地域への意識の高さに感心させられました。市政だよりを读んだり、自治会への参加はしていましたが、今回の会議に参加することにより、より良く知ることができたように思います。
- 放課後児童クラブ、放課後まなび塾、放課後子ども教室のはっきりした違いがわかって良かったです。次回は、これからの公民館の姿や、戦後、社会教育の理念から始まった公民館の成り立ちについて聞いてみたいです。
- その地域や地元にはわからない質問に対しても、市長がためらいなく回答しており、年1回のまちづくり校区懇談会だけでは、これほどのコミュニケーションは無理なはずで、市と地域、市民との距離が近くなったことを実感しました。
- 市の取り組みが細かく説明されていたので、とてもよく理解できた。市政モニターの方の現場の声なども聞いて良かった。意見交換に関しては、テーマが多岐にわたっていたので深く掘り下げられず、提言されただけ、という印象が残りました。市政についての話や質疑応答も大切ですが、2～3のテーマに絞っての意見交換をすれば、もう少し色々な方の意見が聴けたのではないかと思います。
- 時間を考えて、より多くのモニターの意見が聴けるように配慮してほしい。
- 意見交換で発言者の話が長くなる時は、司会が要点をまとめて短縮するようにしてほしい。他の人の意見が少なくなるので。

- ・市民からの質問や意見が多方面にわたっているので、市長一人で細部まで答えるのは大変だろうと思います。他部署の関係者（今回ならば教育委員会事務局、別子山林道整備事業の担当部局など）も会議に参加されると、顔合わせも含めてよいのではないのでしょうか。
- ・意見交換の時間が短かった。市長講演の時間を短くするのではなく、会議の時間を2.5～3時間にしてほしい。また、意見交換は事前に提出している質問や提言を指名制で述べてもらった後で、挙手による発言をしてもらってはどうか。
- ・活発な意見交換で、大変有意義だった。たくさんの案件があるが、1つでも多くスピーディに達成してほしい。

### 【市政へのご意見、ご提言】

- ・今後、各学校に放課後まなび塾と教室全てに空調が設置されることを考えると、土曜日に補習的な学校開放を行い学び塾的な要素の時間を過ごすとか、夏休みを短くして教室で補習的に学習を教えるといった支援はどうかと思います。児童クラブの6年生までの受け入れは、年齢の幅が広すぎて有効な支援とは考えにくいと思います。それよりも、放課後や長期休みのまなび塾を充実させ、退職された教職員の方々の活躍の場を設けていただけることを期待します。学校という安心できる施設の活用を考えることも合わせて、お願いしたいと思います。
- ・放課後児童クラブの6年生までの拡充は、人材不足も問題ですが、いじめ問題等の解決を図るため、空き教室は大変必要なものとなります。「空いているから使う」という単純な発想ではなく、この点を考慮しながら計画を進めていただきたいと思います。
- ・地区別同和懇談会は、差別問題解決のため、大きな役割を果たしてきたものと考えます。教育主体から行政主体に変わっても、地域に出向いて語り合い、粘り強く啓発していくという姿勢はこれからも大切にしていってほしいと思います。
- ・昔、子育てをしていた時期に、PTA総会等で子育てについての講演があり、とても参考になった記憶があります。いじめも差別も、人間としての資質、環境が大切だと思います。これからも教育委員会やPTA、市が、人を育てる環境や講演・音楽・演劇などを後援して、子どもや若いお母さん、お父さんを導いてほしい。価値観が変化していく今日の中、大切なものを見失わず、思いやりのある日本人、愛媛県人、新居浜育ちを誇りに生きていける場所になるよう、お願いします。
- ・障がい者や高齢者、子どもなど弱者に優しい行政を確立していただきたい。新居浜市は比較的豊かなまちだと思いますが、色々なことが進んでいないようです。全国に誇れる、若い移住者が集まるまちづくりをよろしくお願いします。
- ・市政日よりで正社員の人数と賃金は発表されていますが、臨時職員については何も発表されません。時代はまさに臨時職員を廃止し、正社員化する、同一労働同一賃金の時代へ移行しており、政府も民間企業に働きかけています。人手不足の中、市も考えねばならないと思います。
- ・保育士不足の問題について、保育士は大変だからと、資格を持っていても他の仕事をされている方も多いと聞きます。もっと保育士は魅力ある職業だとアピールしたり、市の方でも、保育士やこれから保育士をしようとしている方に、何かしてはどうかと思います。例えば、保育士は体力仕事で疲れているので、マイントピア別子の温泉は半額で利用できる、などどうでしょうか。
- ・観光面、大変努力をされていますが、毎年ごとの経済効果の推移を明らかにしてほしい。
- ・ごみステーションのマナーが悪い場所があり、美観が損なわれています。これは自治会の責任であると思いますが、行政の方でなんとか場所の移動や指導をお願いできないのでしょうか。
- ・新居浜の市道には多くのラインが引かれていますが、横断歩道や停止線、中央分離帯等の白線が消えかかっているのが見られます。交通事故防止の観点から、新しい白線等をお願いします。予算や関係機関との兼ね合いもあると思いますが、よろしくご検討ください。

- 大雨の際、東川に大量のプラスチックごみや袋、ペットボトル、発砲スチロールなどが流れているのを目にします。市の方で今後、時々ごみ回収をするようにできないでしょうか。また、川の土手にも木が生い茂っているところにごみのポイ捨てが山のようにあります。なんとかならないでしょうか。
- ふるさと祭り東京2019への太鼓台派遣について、次回からも各自治会管理・所有の太鼓台を派遣するようにお願いします。
- 市の組織における公民館の検討の推移に注目していきたい。
- 市政には予算もあるので、何もかも無料とかではなく補助を増やす方向で、自分のことは自分で守る（自助）の気持ちで、災害や健康にも留意するべきである。何もかも便利になりすぎ、自分で考える力が失われてきている。

～ご協力、ありがとうございました～



©NPO 法人新居浜まちゅり隊